

令和2年 第3回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年2月19日（金）午前9時30分から午前10時35分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 作 山 雅 宏

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 高 柳 利 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 古川端 琴 也

主 査 吉 田 耕 大

5 傍 聴 者 な し

6 挨 拶

猿子町長： 順調な形で学校運営が進んでいるところですが、雫石高校におきましても中学校、高校、行政、教育委員の皆様方のお力添えにより多数の希望者があり、一つ安堵しておりますが、まだまだわからないところであり今後ともご協力をよろしくお願ひしたいと思っております。

それと同時に、コロナウイルス感染症関係、今大船渡では学校関係クラスターが発生しております。私は学校が一番気になっており

ました。今のところは発症者がいないのですが、これからもどこでどのような形で発症してくるかまだワクチンももう少し先ですので、特にも学校では出たくないという強い思いでおりますのでご協力をお願いしたいと思います。

作山教育長： 町長さんをはじめ、首長部局の皆様には、ご多用のところ開催していただきありがとうございます。また、教育委員の皆様にも悪天候の中おいでいただきありがとうございます。町長さんからもお話いただきましたが、概ね学校教育については、コロナウイルス感染症対策に留意しながら一部の学級懇談会や保護者関係の行事については、中止になったりしていますが、学校生活・子ども達の活動については、ほぼ行うことができ、1年間過ごすことができました。ありがとうございました。そういうことも含めて課題なしとは言えない訳ではありますが、今年度を振り返りながらまた来年度へ向けてやっていきたいことなど町長、副町長さんにもご理解賜りたいと思いますのでよろしくお願いいいたします。雫石高校につきましては、今年度、見直しの年ということになっておりました。大々的にはありませんが、少なくとも雫石中学校と雫石高校の連携、雫石高校からの情報発信と言う点でビジョンの見直しをして参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。

7 議 題

(1) 教育委員会施策の今年度の振り返りについて

菅原委員：コミュニティ・スクールの地域学校協働活動推進員さんという方々がなかなか見つからないということですが、コミュニティ・スクールの肝になる部分の方だと思いますので、なんとか教育長さんの尽力で今後ともよろしくお願いいいたします。

町 長： 県外の高校への雫石高校のPRなど何か行っているのですか。

教育長： 高校の副校長と雫石高校を支援する会の方が出向いております。私と高校の小原校長は、盛岡市内の中学校を回りました。

岩持委員： 田沢湖線で通学するということは、今年、雪の影響がありました。安全に通学できるようぜひお願いします。

副町長： これまで、各学校でトイレを改修してきましたが、私が担当している時は、全体的に見て県内では最低の洋式化率でしたが、これをやることによってどれぐらいの位置までになりましたか。

教育長： 新しいものはないです。

副町長： 町内で何パーセントになったかわかればいいです。

教育次長： 80%くらいになりますので、県内でも上位の方になります。

町 長 : スポーツ合宿は手ごたえがありましたか。

生涯学習スポーツ課長 : ぜひ繋がりを持って実現したいなと思っております。当日は観光からも対応いただき、観光協会の方で合宿の支援制度も設けていましたので、お知らせして施設の空き状況もお知らせしぜひ検討していただきたいということにしております。

千葉委員 : ある情報誌に、学校の給食の特集が載ってまして、やはり自校式給食はすごく良いのだという内容でした。当町の場合は、自校式でやってきて本当に実績があり、そして生徒・先生含めて雫石の給食は美味しいねと言う声が聞こえてくるので、ぜひこれからも進めていってほしいなと思います。地産地消、いわゆる地元産の安心安全な農産物の提供をやっているよと言う流れを長い目で見ていただければ、すごく雫石の大いなる財産になるなと改めて感じたので、ぜひ教育長さん、町長さんこれからもお願いしたいと思います。学校給食費が、半額補助と言うのも素晴らしいことですし、雫石はすでに取り組んでいるのでそういうところは、若い親御さんが雫石に住もうかと一つの要因となっていたきたい。

副町長 : ふるさと納税をそれに向けています。

政策推進課長 : ふるさと納税を寄付しているという方から何に使ってほしいかとの問いに対し、一番はやはり子育てにとということで寄付していただいております。その他にも何に使っても良いという場合は、財源にも給食費や教育費の方に回すようにしております。

岩持委員 : 今、社会福祉協議会で行われている「雪ん子見守り隊」という雪かきボランティアがありますが、中学生、高校生約 70 名がテレビに何度か出たようで、雫石の子ども達が元気に雪かきをしている姿をテレビで見たという県外の親戚から連絡をもらい、ボランティアで大勢の子ども達が一生懸命汗を流して働いてくれている様子が全国に流れ、また雫石の子ども達頑張っているねと言われ私も嬉しかったです。やはり、ボランティアをやってみて相手の気持ちも分かる優しい子になるので継続してほしいです。

(2) 令和3年度施政方針について

岩持委員 : 雫石は教育にお金をかけていただいて、それを保護者の方々が感じられるようだと良いです。これが当たりまえだと思っていらっしゃる方もたくさんいるのでできれば詳しく説明していただきたいと思います。

千葉委員 : やはり町づくり・人づくりは絶対そうだと思いますし、今響かなくても絶対戻ってくると思います。今の若者が首都圏に行きたがるし行くわけですが、絶対ある時期になると地元がいいな、ふるさとがいいなと思う時があります。その時にやはり雫石で育ってよかったなと思える時期、そのために町として投資だと思います。今、町長さんがやられている施策などは将来に絶対に結び付くと確信します。

教育長 : 私もふるさと雫石を誇りと愛着を持てる教育というもの社会福祉協議会も皆
そうです。原体験として学校教育の時に雫石である時代に地域の方にお世話
になったなという子が10人に一人でもいいので、その子が今度は自分も子ど
も達の面倒を見ようかなど、そういう原体験を定着させたいです。全員が皆
ふるさとにと留まるわけでもないですが、必ず原体験としてあれば定年退職
したら戻ってくるとか、遠くからふるさとへのふるさと納税をしようとかい
ろいろな形で跳ね返ってくるのではないかと思い、教育環境はその柱を立て
「いいところみつけプロジェクト」もそうですが、教えていかなければだめだ
ということを実際に強く感じています。

8 その他

特になし

9 閉 会